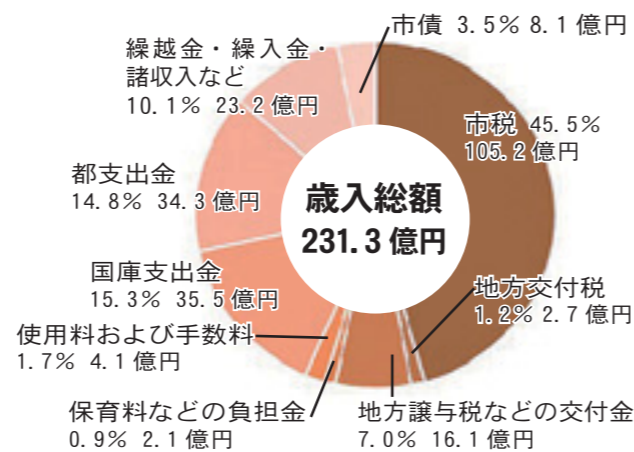
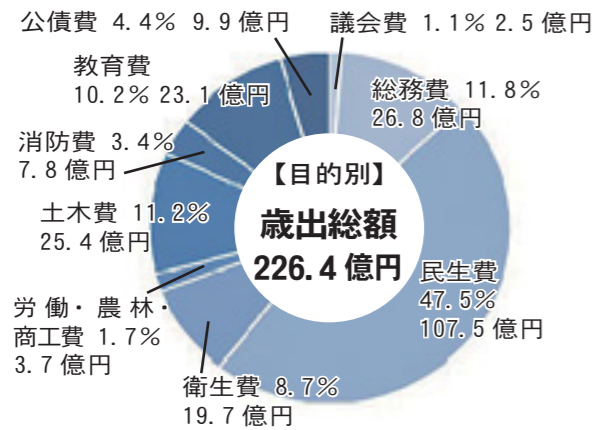


歳出 (目的別)

一般会計

歳入



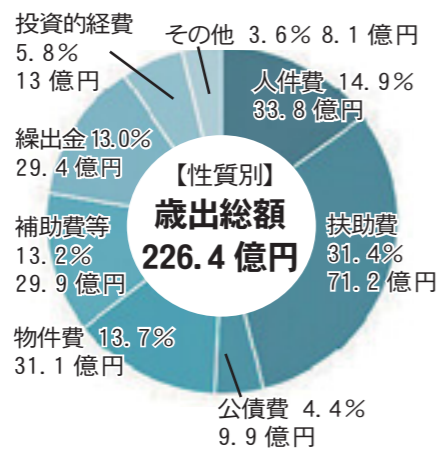
平成 30 年度各会計決算の状況

区分	歳入		歳出		歳入歳出差引額
	歳入決算額	対前年度増減額	歳出決算額	対前年度増減額	
一般会計	231 億 3,115 万円	▲ 2 億 9,225 万円	226 億 4,173 万円	▲ 2 億 4,772 万円	4 億 8,942 万円
特別会計					
国民健康保険事業会計	63 億 1,426 万円	▲ 10 億 9,347 万円	61 億 5,697 万円	▲ 9 億 2,042 万円	1 億 5,729 万円
後期高齢者医療会計	12 億 4,789 万円	6,948 万円	12 億 1,966 万円	5,857 万円	2,823 万円
介護保険事業会計	36 億 516 万円	5,109 万円	35 億 2,817 万円	2 億 972 万円	7,699 万円
羽村駅西口土地区画整理事業会計	12 億 1,526 万円	2 億 7,607 万円	11 億 3,404 万円	2 億 6,925 万円	8,122 万円
下水道事業会計	12 億 4,140 万円	7,704 万円	12 億 463 万円	5,407 万円	3,677 万円

一般会計

歳出 (性質別)

- 人件費…議員などの報酬、職員の給与など
- 扶助費…子どもや障害のある方などを援助するための経費
- 物件費…消耗品費や委託料などの消費的経費
- 補助費等…団体などへの助成金や一部事務組合負担金など
- 繰出金…特別会計へ支出する経費
- 投資的経費…社会資本形成となる建設事業費



◆主な性質別経費の増減の要因 ※()内は前年度比

- 扶助費 (+0.4%) : 障害福祉サービス費や生活保護費などの増
- 物件費 (+1.3%) : 教育用コンピュータ機器等使用料やコンビニ交付システム構築委託料などの減
- 補助費等 (+0.1%) : 西多摩衛生組合など一部事務組合に対する負担金などの増
- 繰出金 (+9.1%) : 国民健康保険事業会計、西口土地区画整理事業会計、介護保険事業会計への繰出金の減
- 投資的経費 (+2.0%) : 羽村駅自由通路店舗移転負担金や加美緑地公園用地購入費など事業費の減

厳しい財政状況の中、計画した事業を執行

近年は、税制改正の影響などにより、法人市民税を中心に市税収入が低迷している一方で、少子高齢化などを背景に、社会福祉や児童福祉に要する経費などが増加しています。これらのことから基金の取崩しが増え、基金残高が減少するとともに、財政の硬直化が進むなど、市の財政は厳しい状況にあります。このため、全庁を挙げて事務事業の点検・見直しに取り組み、歳出削減や歳入確保に努めており、今後も健全で安定的な財政運営を行っていくため、行財政改革に取り組んでいきます。

一般会計

市一般会計は「一般会計」と「特別会計」に分かれています。「一般会計」は行政を運営するために必要な、基本的な収支を管理する会計です。

◆前年度より約2億9千万円の減
歳入総額は、231億3115万円です。市税や地方交付税などが増額となったことから、基金繰入金を大幅に抑制することができました。その結果、前年度に比べて2億9225万円(1.2%)の減となりました。

◆前年度より約2億5千万円の減
歳出総額は226億4173万円です。羽村駅自由通路拡幅施工委託料や羽村第一中学校防音機能復旧(機器取替)工事費などの普通建設事業費が増加した一

方、国民健康保険事業会計への繰出金や臨時福祉給付金等が減少したことなどにより、前年度に比べて2億4772万円(1.1%)の減となりました。

平成 30 年度に実施した主な事業

- 動物公園改修工事
- 羽村第一中学校防音機能復旧工事
- 認定農業者制度の推進
- 地域包括支援センター事業の充実



▲地域包括支援センターあかしあ開所 ▲クラウドファンディングを初活用

平成 30 年度の歳出を市民 1 人あたりに換算してみると、**40 万 7,174 円**



◆1人あたりの額を目的別に分けると (人口 5 万 5,607 人・平成 31 年 1 月 1 日現在)

民生費	総務費	土木費	教育費	衛生費
高齢の方や障害のある方、保育などの福祉の充実に	コミュニティの振興や行政運営に	道路や公園、市街地の整備に	学校教育や文化・スポーツの振興に	市民の健康を守ることやごみ処理などに
19 万 3,267 円	4 万 8,225 円	4 万 5,711 円	4 万 1,450 円	3 万 5,508 円
公債費	消防費	労働・農林・商工費	議会費	諸支出金
市が借入れた市債などの返済に	火災や地震などの災害に備えて	産業振興や消費者行政に	議会の運営に	土地の取得などに
1 万 7,766 円	1 万 3,932 円	6,737 円	4,541 円	37 円

財政白書
ご利用ください

「決算から見た羽村市の財政状況」や「財務諸表から見た羽村市の財政分析」などをまとめた「財政白書」を発行しています。市役所1階市政情報コーナー、図書館、市公式サイトなどでご覧ください。
問合せ 財政課☎319

平成30年度決算をもとに算定した比率は3ページ右下「健全化判断比率」の表のとおりです。いずれも早期健全化基準（イエローカード）を下回る適正な水準となりました。

健全化判断比率から見た
決算の状況

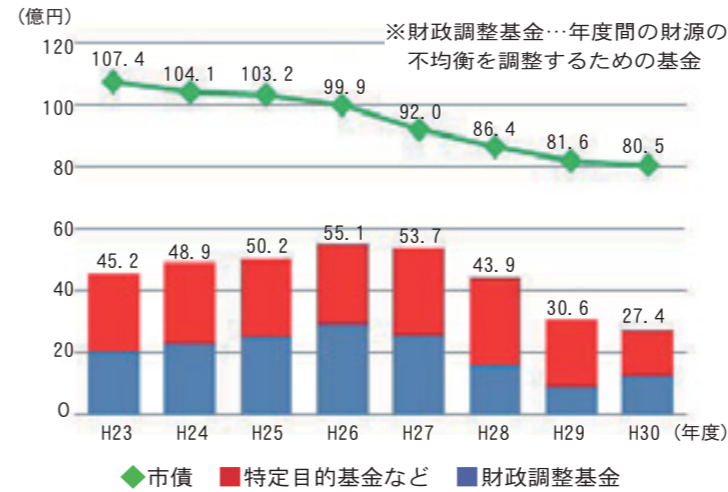
単年度指数で比較すると、平成30年度は前年度に比べて0.019ポイント減少し、0.977となりました。他団体と財政力指数を比較する場合は、その年度を含めた過去3か年の平均値を用います。市の3か年の平均値は0.999です。多摩26市の平均は0.987で、羽村市は高い方から10番目です。

基金・市債・一時借入金

◎基金
家庭でいう「貯金」にあたります。平成30年度末の一般会計の基金残高は、27億3793万円で、歳入不足を基金の取崩しで補ったことから、前年度末と比べて3億2241万円の減となりました。

◎市債
家庭でいう「借金（ローン）」にあたります。公共施設の建設などに必要な費用を、将来その施設などを

■基金残高と市債残高の推移



◎一時借入金
一時的な現金の不足を補うために借り入れる資金のことです。市債とは異なり、その会計年度内に返済します。平成30年度は一時借入れを行いませんでした。

市民一人あたりの額は
(平成31年1月1日現在)
：5万5607人
・基金 4万9237円
・市債 14万4785円
となります。

財政指標から見た
決算の状況

◎経常収支比率
経常的な経費（人件費や扶助費、公債費など）に、市税などの経常的な一般財源（市が用途を決められる財源）がどのくらい使われる

たかを表す比率です。この数値が高くなると、財政の弾力性が失われると言われています。
平成30年度の経常収支比率は100.7%で、前年度と比べて5.1ポイントの減となりましたが、依然として比率が100%を超えており、財政の硬直化が進んでいます。多摩26市の平均は91.9%で、羽村市の比率は最も高くなっています。

◎公債費負担比率
公債費（借金などの返済）に一般財源がどのくらい使われたかを表す比率です。一般的には15%を超えると言われ、20%を超えると赤信号とされています。
平成30年度は前年度に比べて0.1ポイント減の7.7%となりました。多摩26市の平均は8.3%で、羽村市は低い方から10番目です。

◎財政力指数
普通交付税の算定に伴って算出される数値で、この数値が高いほど財政力があると言われ、1を超えると普通交付税が交付されない不交付団体となります。

水道事業会計

問合せ 水道事務所☎554-2269

■収益的収支 (税抜き)

水道事業収益	10億4,737万円
うち給水収益 (水道料金収入)	9億3,657万円
水道事業費用 (水道を供給するための費用)	7億7,940万円
差引き (純利益)	2億6,797万円

■資本的収支 (税込み)

資本的収入	1億2,671万円
資本的支出	7億1,908万円
建設改良費	3億6,492万円
企業債償還金	3億5,416万円
不足分	▲5億9,237万円

※不足分は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度および当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

■性質別費用の状況 (税抜き)

項目	費用
人件費	職員給与など 9,213万円
動力費	水源から水をくみ上げたり、配水塔へ水を溜めたりするための電気代などの費用 5,937万円
受水費	東京都から臨時に水の供給を受けるための費用 2,475万円
委託料	水道料金徴収業務、休日・平日夜間における水源や配水場の監視業務委託などの費用 1億5,832万円
修繕費	施設、配水管などの修繕に係る費用 6,104万円
減価償却費・資産減耗費	固定資産価値減耗に係る費用 2億9,504万円
企業債利息	企業債（借金）の支払利息に係る費用 7,466万円
その他	1,409万円
合計 (水道事業費用)	7億7,940万円

平成30年度の水道事業収益は、10億4737万円で、29年度と比べて1220万円減少しました。水道使用量は593万3616m³で、29年度と比べて5万8295m³減少しました。水道事業費用は、7億7940万円で、29年度と比べて3269万円減少し、純利益は2億6797万円の黒字決算となりました。

建設改良工事などの状況

管路の耐震化を進めるための既設の硬質塩化ビニール管の管種替工事（延長1718m）、羽村駅西口土地区画整理事業の進捗に伴う配水管の布設や布設替工事（延長274m）、および安全な水道水の供給のため、末端給水栓連続自動水質監視装置設置工事や第1・第3水源、第2配水場監視カメラ設置工事を行いました。

■性質別費用の割合

